# お手入れ

**⚠注意** ●お手入れは、必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。

ご注意
●ご使用のたびにお手入れしてください。
●ベンジン、シンナー、粉末タイプのみがき粉は使用しないでください。
●吸・排気口に水が入らないよう、ご注意ください。

## トッププレート・プレートワク（ステンレス製）・光センサー

### ●軽い汚れ

絞ったふきんでふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

### ●油汚れ

台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意　酸性・アルカリ性の強い洗剤（漂白剤、住宅用合成洗剤など）は使わないでください。（トッププレート・プレートワクの変色の原因となります。）

### ●落ちにくい汚れ

クリームタイプのみがき粉を丸めたラップにつけてこすりとる。

※プレートワクはステンレスの筋にそって、こすってください。

筋の方向は横向きです

ご注意
●ドライバーやフォークなど先の鋭いものや粉末タイプのみがき粉は使わないでください。
●金属のたわし・スポンジのナイロン面、アルミホイルなどでこすらないでください。（トッププレート・プレートワクが傷つく原因となります。）

### ●それでも落ちないときは

市販のセラミック用スクレーパー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふき取る。

別売品　2008年8月現在

**トッププレート専用クリーナー**

●トッププレートの汚れをおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを抑えます。

品　名：ガラスクリーナー
型　式：HT−K1
希望小売価格：1,470円
（税抜1,400円）

※お買い上げの販売店または「ご相談窓口」➔P.63 にご相談ください。
希望小売価格は価格改定に伴い変更する場合があります。

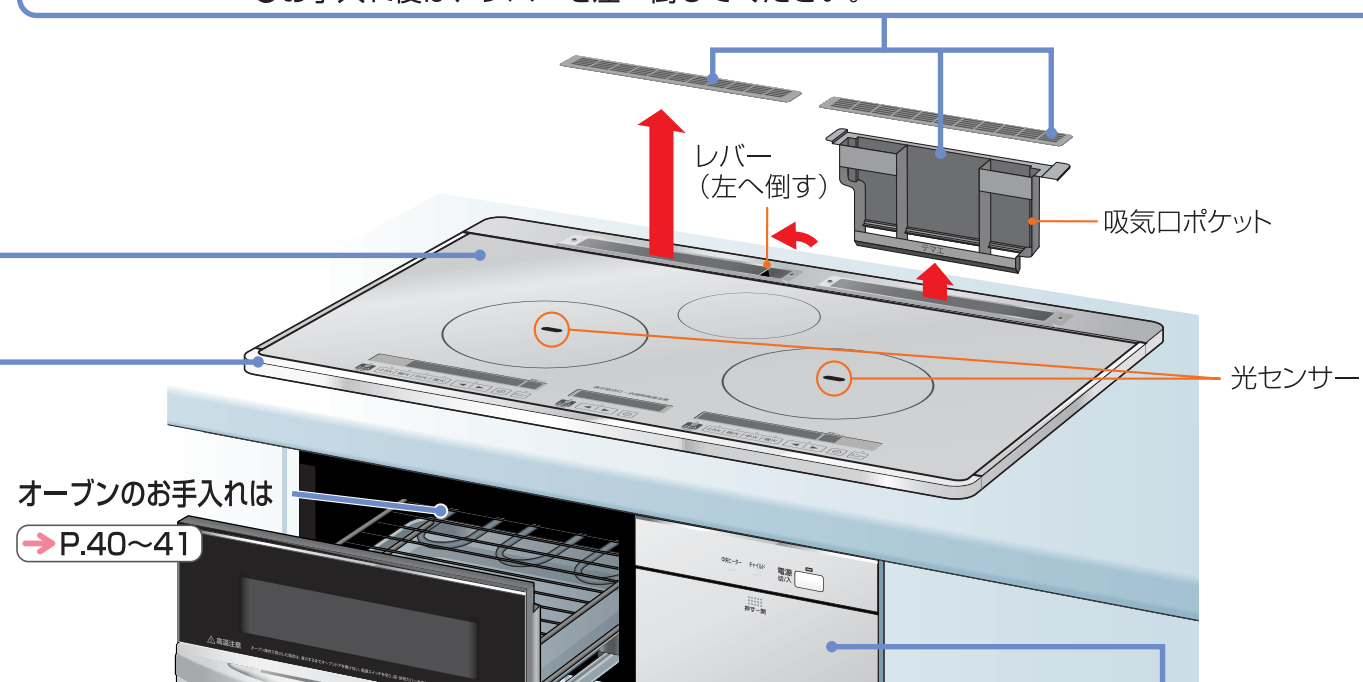
お知らせ
●しょうゆなどの調味料を放置すると、汚れあとが残ることがあります。
●鍋底の汚れがトッププレートにつく場合があります。鍋底の汚れも取り除いてください。
●光センサーが汚れていると、センサーが正しく働かない場合があります。

## 吸・排気カバー、吸気口ポケット

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
※たわしやみがき粉は使わないでください。

吸・排気カバーの下の油汚れもお手入れしてください。

ご注意
●吸・排気カバーは、食器洗い乾燥機に入れたりアルカリ性の洗剤を使ったりしないでください。
●汚れて目詰まりしたまま使うと、安全装置が作動して通電を停止したり、オーブン使用中にオーブンドアから煙がもれたりする場合があります。
●お手入れ後は、水気をよくふき取り、本体に必ずセットしてください。
●吸・排気カバーは強くこすらないでください。表面を傷つけたり変形する場合があります。
●お手入れ後は、レバーを左へ倒してください。

オーブンのお手入れは ➔P.40〜41

## 天ぷら鍋（付属品）

①薄めた台所用洗剤（中性）とお湯で洗う。
●たわしやみがき粉は使用しないでください。

②鍋底や外側の異物や汚れをとる。
●汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。またトッププレートが汚れます。

③洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。
●洗ったままにしておくとさびます。
※天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
●鍋底が反ったり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。➔P.5

## 前面操作パネル

やわらかい布でふき取る。
汚れがひどいときは、台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意
●水にぬらさないでください。故障の原因となります。
●ベンジン・シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤は使わない。
●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。

# お手入れ（つづき）

**⚠注意** ●お手入れは、　必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。

## オーブンドア･受皿･焼網の取り外しかた

**1** とってを両手でしっかり持ち、ゆっくり止まるまで引き出す

受皿内の脂などをこぼさないように注意してください。

**2** 焼網と受皿を外す

**3** とっての下側に手をまわし、オーブンドアバネを軽く引き下げる

オーブンドアバネを押さえずに無理に外すとオーブンドアが破損したり、変形することがあります。

**ご注意**

オーブンドアを押し倒して外さないでください。オーブンドアが破損したり変形することがあります。

**4** オーブンドアを本体側へ倒すようにし、左右2箇所のツメを外す

## オーブンドア･受皿･焼網の取り付けかた

**1** オーブンドアを本体側へ倒すようにし、レール側のツメ2箇所をオーブンドア下部の角穴に差し込む



**2** オーブンドアを手でささえ、垂直に起こしながらはめ込む

カチッと音がしてオーブンドアが固定されます。

**3** 受皿と焼網を載せる

焼網は、支え部を手前にして受皿にセットしてください。焼網を逆に入れるとヒーターに当たってドアが閉まりません。

**4** オーブンドアは本体の前面に当たるまで押して閉める

## 脂や汁がたまっている受皿の取り外しかた

①脂や汁がたまっている受皿の両側をしっかり持ち、ゆっくりこぼれないように90度回転させます。

②受皿の脂や汁がこぼれないようにゆっくり持ち上げて外してください。

## オーブンドアのお手入れ

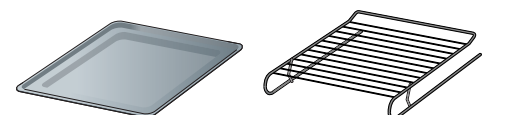
薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

**お願い**
- ●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
- ●オーブンドアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

## 受皿・焼網のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

**お願い** 受皿･焼網のフッ素加工を傷めないでください。

- ●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
- ●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。フッ素加工に傷が付いたりはがれたりすることがあります。また受皿の裏面を傷つけます。
- ●受皿・焼網は食器洗い乾燥機に入れたり、アルカリ性の洗剤を使ったりしないでください。
- ●ご使用のたびにお手入れしてください。
  汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
- ●受皿･焼網は消耗品です。フッ素加工が傷んだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。➔ P.5

## オーブン庫内のお手入れ

庫内クリーニングをご使用ください。オーブン庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

**準備** 焼網･受皿を取り外し、オーブンドアを確実に閉める。前面操作パネルを開く

**1** 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、
**電源を入れる**（ランプが点灯します）

**2** 時間 ◀ クリーニング3秒押し を3秒押し、
**表示部に「[L」を表示させる**

**3** 切/スタート を押し、**通電する**

メロディーが鳴ったら終了です。

**4** 続けて使わないときは

電源 切/入 を押し、**電源を切る**（ランプが消灯します）

**ご注意**
- ●においを軽減しますが、汚れは除去できません。
- ●クリーニング中は、オーブン庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ずレンジフードを使用してください。

**ご注意**
- ●オーブン庫内に落ちた食品カスなどは、オーブン庫内が冷えてから手袋などをして取り除いてください。
- ●オーブン庫内は金属部が数多くありますので、やけどやけがに十分注意してください。

クリーニング中は表示部に [L を表示します。
約11分で終了します。

●庫内の温度が約80℃以下になるまで「高温注意」表示をします。

お手入れ